慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	シヨオを中心として観たるフエビヤン社会主義運動（二）
Sub Title	
Author	町田, 義一郎
Publisher	慶應義塾理財学会
Publication year	1921
Jtitle	三田学会雑誌 (Keio journal of economics). Vol.15, No.8 (1921. 8) ,p.1185(123)- 1201(139)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	雑録
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00234610-19210801-0123

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

いことは勿論であるが、博士の例に示されたやうな工合に、（恐らく女虎（女寅？）は俳優、桃太郎は裝妓の名の積りなのであらうと推測する）勝手に史論を歴史と名付け歴史を史論と云つて差間えないであらうか。太陽を月と呼び、月を太陽と云つたなら三尺の童子と雖も不服なきを得ないだらう。

最後に余は博士と共に歴史は「議論もせねばならぬ、批判もせねばならぬ、推斷もせねばならず、想像もせねばならぬ、計算もせねばならぬ、比較もせねばならぬ、解剖もせねばならぬ、社會の生活狀態に關するアラユル事を考覈するに缺く可らざる一切の手段を竭くして其の生々たる眞相を畫がざる可らざるのである。」（同誌九八頁）唯余は本文に於いて述べたるが如き立場に於いて同意するのである。常識判斷の曖昧な言語を使用することは學者として絶對に避くべきことである。

次ぎに余の批評を評されたる間崎万里氏に對して一言しなければならない。然し餘りに紙數を使ひ過ぎたから簡單に述べて置く。同氏は氏が「大正時代の好著述學界の誇とすら感じて居る瀧本博士の著作「日本經濟史」に對する紹介の文章中に」と述へ、前掲の余の批評の一部を掲げ、次で竹越氏の日本經濟史を評し「もし本書を以て近世史學發達以前の著述であるとするならば、瀧本博士の著述に對しての批評は又近世史學以前の歴史評といふべきであらう」と非難されてゐる。（「三田評論」第二百八十四號）斯くの如き攻擊の起因は恐らく間崎氏が價値關係及び價値判斷の意義を明かにされなかつた爲めであらう。此の點を十分闡明しなかつたことに就いては勿論余の罪である。然し若し氏にして近世史學、少くとも最近西南獨逸學派の歴史哲學に關する了解があつたなら或ひは斯くの如き漫評を加へることはなかつたらうと思ふ。素より淺學不才の余であるから尚ほ多くの點に於いて足らざるところが少くないだらう。無理解な非學問的の攻擊罵倒でなく、論理的根據を有する批評を加へられゝば余にとつて最も幸福である。

以上先輩兩氏に對して多くの過言をなしたる點に就いては幾重にも寛容を乞ふと共に、貴重の本紙に於いて多くの頁を費したことを讀者諸氏に謝する。

（註二）Georg Simmel:—Das Problem der historischen Zeit. 1916.

（未完）

ショオを中心として觀たるフエビヤン社會主義運動（二）

町田義一郎

そこで Wilson 夫人一派の會員の離脱を避ける爲め一八八七年二月協會内に Fabian Parliamentary League が設けられ之に加名すると否とは各自の自由とした。

『Fabian Parliamentary League は、社會主義の實現は最も迅速且つ最も確實に、民衆が既に有する政治的權力を利用する事に因つて行はれると信ずる社會主義者から成る。

獨逸帝國議會、北米合衆國の立法部並に佛蘭西議會に於ける社會黨の發達は、英國の議會に於て社會黨の可能な事を證するのみならず、我國内に於て社會主義思想の大きな影響を公の事柄に對して及ぼす任務に英國社會主義者が大いに從う樣に命じて居るのである。

此 League は社會主義思想に系統を立て、而してそれを議會自治團體その他の代表團體に影響させやうと努力する。講演及び出版に依つて時事の政治問題を論究し、諸政策の終局の傾向並に其直接の效果に說き及ぼし、而してそれが社會主義の理想に傾けるか遠ざかれるかに依つて社會改良の爲め提起された諸政策の爲め盡力し、或は之に反對する。此 League は有ゆる總選擧並に地方選擧に活動せんとする。議會に於て社會黨を組織するに至るまでは社會主義に最も接近せる候補者を援助するに止める。何れの政黨とも絶對に合併せず、政黨の目的の爲め利用される事を避け、候補者の性格經歴並に選擧區民に對する誓約に依つて盡力をする。都市、

School Board、教會區その他の地方選擧に於て充分勝算ありと認めた時 League は自ら候補者を立て、而して信頼するに足る社會主義者を地方の代議機關に置く事に因り、地方自治の有ゆる事柄に社會主義の理論を認めさせやうと努力する。

各選擧區に於て、その地方の公共事業に活動する事は League の會員の義務であつて、此目的の爲め彼等は League の支部を設けなければならぬ……』(Shaw—The Fabian Society pp. 13-14)此 League の『宣言書』は後の Fabian 政策の概要を示してゐるものと稱されて居るので特に掲げたのであるが無政府主義的色彩の會員達は間もなく協會と全く融和するか、又は全然關係を絶つかしたので League は存在の必要を失ふに至つた。

四

斯くの如き內部の動搖は兎に角として『此の間に於て吾々の最も意義ある仕事は Ferdinand Lassalle が誇つては居たが、而も彼並に彼と同時代の Marx 以後古臭くなり、時代遲れとなつた社會民主主義の歷史的及び經濟的根據を吾々が更新した事である。此二先覺者達が教育を受けた現世紀の前半に於ける歐洲の凡ての社會主義者は、勞銀は生計最小限に低落の傾向があるといふ Ricardo の論證を誤認しそして彼等が社會主義の科學的根據を構成し得たものと信じてゐた所の彼の Ricardo の勞働價値說を誤り信じてゐたのである。又既往に於ける社會主義者は (Ruskin を勘定に入れぬ限では) 一文の價値ある經濟的思索をせず或は學界に於て吾々を時代遲れにさゝぬ樣な努力もしなかつた。一八八五年に吾々は Marx の價値論及び Lassalle の勞銀鐵則を捨ち一八七〇年代同樣に樣々してゐるものである。Henry George 以外にはどんな社會主義者も經濟賃子(economic rent)說の知識を持つてゐない樣だつた。Rent of Ability と云ふ言葉を初めて Fabian が講演や論爭に用ひ出した時笑はれた程、此言葉を熟練勞働に適用する事は知られてゐなかつた。而して新しい價値學說は Marx に對する冒瀆であると排斥され、S.D.F.の建設以來彼等が社會主義經濟學に一つの貢獻すら爲す妨害に Marx がなつた所の Finality や Infallibility の獨斷論を尙墨守してゐるのである。』(Shaw—op. cit., p. 15)既に Fabian は Ricardo と Marx の勞働價値論を排して居た事は此引用句に依ても窺うを得るであらう。更に彼等は勞働價値說に代くるに Jevons の最後效用說を以てし、Ricardo と Henry George の地代論を擴張した Economic Rent 說を以てその理論的根據としたのである。

是等に關しては小泉教授の諸論文に詳述されて居るので此小篇中に繰返す必要も亦餘裕も持たないが、斯くの如き結果として『吾々は無政府主義者でも、革命主義者でもないといふ事を吾々に意識させるに至つた。抽象的な無政府主義を human nature と economic rent 說で粉碎し消滅させてしまつた。』(Ibid., p.19)) Marxism を奉ずる S. D. F. 同樣 Fabian もその初期には革命的であり好戰的であつて (Ibid., p. 3. Pease—History of Fabian Society p. 61 note)【註 Pease の反對意見及び Shaw の論駁は Pease—op. cit., pp. 61—62 並に p. 62 note 參照】兩者の會員間の交渉も密接であつてその相違は S. D. F. が排他的なのと Fabian の凡てが未だ若年であつた位の事であつたが、既に兩者はその理論的根據に前述の如き相違を來したのである。尙その政策に於ても『二三の相違を擧げるなら、第一に Fabian

Societyは國内産業の源泉の社會の實現を援助する會である。S. D. F.は國内の無産者をそれ自身階級に編成させ而して自身で國内の産業を社會化する爲めの會である。Federationは撓まず英國に於ける勞働階級の利の只一の純粹な代表者だと主張する。それに加名するまでは如何な人をも社會主義者に算へず、又その會員でない候補者を援護しない。『……此執念深い黨派的政策は結局その成功如何が會員を募る力の大小によつて決せられる事になる。勞働階級に對しては社會主義を說く事が出來るばかりだと吾々が信じて居た時代に、唯單に英國のみならず歐洲――否世界中の――各勞働者を吾々の仲間に入れやうと計畫された。されば英國民の五分の四がS.D.F.の會員なら之は正當な方法である、併し二十五ヶ年に及ぶ此運動の經驗は斯んな結果は望まれぬ事を證明してゐる。』（Shaw―op.cit., p. 21）S. D. F.も會員は小數ではあり、Fabiansや Trade Unionists その他を非難なして民衆を誤るものであると稱する樣な態度であつたので勞働階級に對しても一面甚だ不人望であつた。そして偶々S. D. F.の支部が成功を示したのはFabianに倣ふか Trade Unionと協調を保つて事を爲した場合である。

斯くて Fabian は特色ある一社會主義團體としてその據つて立つ主義綱領を明らかにする時は熟し。實行委員と外八名の起草委員によつて作成された草案は一八八七年六月三日に提出されその後討論修正に會を重ねて拾月になつてやつと完成されたのが次に掲げた『Fabian Societyの根據』である。

『Fabian Societyは社會主義者から成る。

故に、個人並に階級の所有から土地及び産業資本を解放し、而して是等を一般の利益の爲め社會に歸屬せしめる事に據つて社會を改造しやうといふ事を目的とする。斯くして國内の自然並に收め得た利益が平等に全人民に分たれるのである。從つて此協會は土地の私有財産並にそれに伴ひ地代の形で、土地使用の許容及び優秀な土壤と場所に對して支拂はれる代價を個人が私用するのを絶滅させやうと努力する。

更に此協會は社會によつて都合よく支配される産業資本の管理を社會に移さうと盡力する。何んとなれば過去に於ける生産手段の獨占の爲め、産業の發明及び資本に歸する餘剩所得は轉じて主として有産者階級を富まし、勞働者は今日生活費を得る爲め其階級に從屬してゐる。

若し是等の手段が賠償せずして（剝奪された個人に對し社會が適當と思ふ樣な救濟をしないのではないが）實行されるなら今日他人の勞働に由つて生活しつゝある怠惰な階級は必然消滅し地代と利子とは勞働の報酬に加へられ、而して現制度から生じつゝあるより一層個人の自由に干涉する事の尠い經濟力の自然の活動に由つて實際の機會均等は維持されるであらう。

是等の目的到達の爲め、Fabian Society は社會主義思想の普及並に其れに續いて（男女に對し平等の市民權を確立するといふ事をも包含する）社會的及び政治的變化を目指すのである。是等の目的は經濟的道德的並に政治的方面に就ての個人と社會との關係に關する知識を一般に普及させる事に因つて達しやうと欲してゐる。』

是は Fabianism の全内容を示すものではなく協會が會員に要する最小限の規定なのである。後年幾度か之が修正は企圖されたが僅かに終に近い括弧内の『男女に對し平等の市民權を確立するといふ事をも包含する。』と云ふ句が追加されたばかりである。

五

一八八九年に最初の協會年報が刊行された。それによるとTractsは既に六千部から賣れてゐた。併し彼等の活動は單にTractsに限られて居たわけではなくS.D.F.その他が失業問題で騷ぎ廻つて居る時、MorrisやCarpenterの講演を聽き、或は會員相互に研究の結果を發表し、以て理論的研究を怠らなかつた。彼は又Hampstead Historical Clubを組織してMarxやProudonの研究をしたのも此頃からであつた。

此年の拾二月には英國社會主義文獻の最も重要な一つが協會から出版された。Fabian Essays in Socialismがそれである。Shawの編輯の下に永い間の協力の結果生れ出た此論文集の中にはMarxの價値論にも歷史觀にも觸れた所はなかつた。B. Shaw, S. Webb, S. Olivier, G. Wallas, A. Besant, H. Bland 六名の無名の青年の筆になつた此論文集は今日から見ると實に幼稚なものではあるが、當時非常な歡迎を受け幾度か版を重ね又後には、和蘭、諾威、獨乙等の諸國で飜譯された。翌一八九〇年にはHenry H. Hulchinsonの寄附で講演旅行が計畫された。九月二十日から拾月二十八日に至るLancashire, Manchester, Liverpool方面へかけての所謂Lancashire Campaignは非常な成功を齎し、幾多のLocal Fabian Societiesが組織された。會員も百七拾三名から急に參百六拾一名に增加し、一八九一年三月には月刊機關紙Fabian Newsの發行を見るに至り、又一八九二年になつては會員は五百四十一名に登り、その二月六日七日に倫敦のEssex Hallで最初の大會が催された。拾四のlocal societiesからは代表者を送り、既に屢引用したShawの講演The Fabian Society: what it has done and how it has done it (Tract no. 69) は非常な喝采を以て迎へられた。此年Webbは終に官職を辭して全く社會運動に沒頭する事になつたが、それまでは會の一切は殆んど一定の職務に妨げられる事のないShawが引受けて居たと云つてもよい程であつた。

一八九三年一月にはKerr Hardieによつて The Independant Labour Party(I.L.P.)が建設される事になり倫敦のFabian Society及び九つのlocal Fabian Societiesからは代表者がその相談會に送られた。併しその代表者一同に代つてShawは此新團體と併合する意志のない事を表明した。(Beer—History of British Socialism Vol. II. p. 302)同じ一月に既にSocialist Leagueの人でなかつたMorrisの組織したHammersmith Socialist Societyの提唱の下に最初の英國社會主義の統一運動が試みられた。その結果Morris, Shaw, Hyndmanによつて『共同宣言』が起草される事に決し、五月一日にMorrisが起稿し二氏の訂正增補を經たManifesto of British Socialistsが發表された。全文大版八頁中、その前半には資本主義の弊害たる失業、農業の不振、並に兒童の營養不良に就て述べ、次に之が救濟策を論じ左の如き奇妙な表が附加へられてあつた。

『八時間法。
兒童の賃銀勞働の禁止。
凡ての貧窮兒に對する無料の扶與。
同勞働に對し男女同等の支給。
政府並に都市の事業、或は鐵道の如き國家の特權を享受する獨占事業に雇はれる凡ての成年に對し適當なる最低勞銀。
凡ての下受負(subcontracting)並にSweatingの抑制。
男女共凡ての成年に對し普通選擧。
凡ての公務に對し公給』

此箇條書はその理想たる『現制度に代るに條件の均等なる社會を以てする』社會に達せんとする手段であつて、その後には『Fabian Society の根據』に類似の綱領が載げられて居たのみで、此統一運動には政治論の樣な議論の多い問題は避けられたのである。當時は總選擧期切迫の際であつたので各團體は此統一運動の共同委員會が適當と認める社會主義候補者の爲め全力を注ぐ事を約せるのみで一切の決議は延期され、終に七月末に Fabian は代表者を撤去するに至つた。

尙、玆に述べなければならぬのは Fabian 獨特の『滲込政策』(Permeation)である。

『吾々は今や Federation の黨派根性と吾々の手段の間の最後の緣を斷つに至つた。吾々は各會員にその地方の Liberal や Radical Associations に、又若し好きなら Conservative Association に加入する樣に薦めた。……　吾々は之等の團體で演說したり決議案を提出したりした。……吾々は黨派の組織內に滲込んで行つて、そして此上ない巧妙さと熱心さで出來るだけ操縱してみた。斯くて吾々は成功し一八八八年には Fabian がなかつたら出來そうもなかつた樣な先進的な多數の地位を倫敦の County Council で得たのである。此運動の指揮は主として S. Webb が行つた。彼は今日でも自由黨員や黨派根性の社會主義者が驚いてゐる樣な策略を演じたのである。』(Shaw—op. cit., pp.18-19)

此 Permeation が都市自治體と社會主義思想を吹込むに役立つたのは爭はれぬ事實であると共に、Fabian Society の存在を廣く認めさせるに與つて大であつた。彼の Fabian Essays の非常な賣行の如きは之が爲であつたと稱せられてゐる。而も自由黨や急進黨の領袖達は、Fabian の滲込宣傳を如何ともする事が出來なかつたのである。『結局、彼等は吾々に云ふ「君の滲込政策は成功だつた吾々は permeate された。そして、その結果、凡ての資金と permeate されない領袖の職權とが吾々に反對するのを發見した。偖て吾々は如何すれば之等の領袖を除けるか、或は彼等と戰へるかを敎へて貰ひ度い』……今や何千といふ全く社會主義化された急進黨員が存在してゐる。……更に何千といふ社會主義化されはしなかつたけれども同樣に扱はれなければならぬ人々が存在してゐる。……吾々は凡ての政治上の愚者を敎育し、又出來るだけ彼等の政黨を押進め、斯くして吾々は社會主義者の特別な政治的任務——即集產主義に依つて收める所が失ふ所より多い人々が、それにより失ふ所が得る所より多い人々に對抗して集產主義者の政黨を組織する端緖を開いたと信じてゐる。』

(Shaw—op. cit.,p. 20) 此外協會は市營官營を主張する幾多の tracts を發行し、又選擧に際しては tracts や演說に依つて社會主義候補者を後援すると共に、別に貸出圖書館をも經營し最初は local Fabian Societies の爲めに後には勞働者學生及び一般讀書家に社會問題、經濟學その他の著書を貸出し更に進んでは勞働者の爲め通信敎授をも行ふに至つた。一方 Lancashire Campaign と共に一時に起つた local Fabian Societies はその後次第に I.L.P. に勢力を奪はれ、一八九〇年頃には僅かに四つを殘すのみになつた、又之と同時に Cambridge, Oxford その他の大學內に組織された University Fabian Societies も同じ運命に陷つた。

六

一八九六年八月倫敦で開催された第三回の International Socialist Workers and Trade Union

Congressには Fabian の代表者も出席した、そして Marxists に對抗して堂々と Shaw 起草の Report on Fabian Policy and Resolution(後Tract no. 70として發行）が提出された。簡勁な此『報告』は當時の Fabian Society を全體として最も明瞭に示すものである。

第一　Fabian の使命

Fabian Society の目的は英國民に、彼等の政治組織を全部民主的にし、斯くして人民の生計を私人の資本主義から全然獨立にする樣にその產業を社會化せん事を說くにある。Fabian Society は全く唯一つの目的の爲めに社會主義的並に民主主義的の色々の事を成遂げやうと努めるのである。例へば、結婚問題、宗敎、美術、抽象的な經濟學、歷史的進化、通貨や或は實際的な民主主義並に社會主義のそれ自體の特殊な仕事以外、他の問題に關しては何等特別な意見を持たぬのである。その掌中にある凡ての力と信念とを現在の團體に結合して、如何んな名稱の黨派であると、社會主義者たると否とを問はず、又如何んな主義を宣言するとを問はず、社會主義並に民主主義を助成するものは援助し、而して之に反對な者に敵抗する。

社會民主主義に向つて進む實際の進步が協會自體により、或は他の特殊な組織の會や黨によつて實現されるものとは主張はしない。

Fabian Society に加入する樣に英國民に賴みもしない。

第二　Fabian 選擧政策

Fabian Society は英國の臣民たる事又は社會黨たる事をも主張しない。故に選擧に際して Fabian 候補者を立て直接政治上の代表者たる事を要求しもせず。併し、彼等の候補者として社會主義者を選ぶ樣に選擧に影響を及ぼし又選擧區民を指導する機會は決して見逃さない。併しこの投票が得られそうな時は Fabian Society は如何んな事情の下に於ても又他の政黨に反對しても斷乎として彼を援助する。

第三　Fabianの寬容

Fabian Society は外の團體を避けはせず、それに加入し、そしてそれに出來るだけ Fabian の思想を permeate する機會を失はぬ樣にと其會員に說いてゐる。殆んど凡ての團體並に運動はその建設者の同情及び意志が社會主義者のそれと如何んなに離れてゐやうとも社會主義を助成する要素を含んでゐる。之と反對に、社會主義に反對の提案が無意識に社會主義團體中に絕へず提出されるのである。それ故、Fabian は社會主義者たると、否とを問はず Fabian の仕事の實行出來る凡ての他の團體に加名する。

第四　Fabian 立憲主義

Fabian Society はその態度に於て全く立憲的であるし、尙その手段は英國政治社會に於て普通なものなのである。

Fabian Society は人間の性情により、又英國民の國民性並に政治上の事情によつて起る色々の事情を認める。一般の人々が革命、軍隊及び警察との爭鬪並に虐殺を嫌惡し漸進的、平和的な變革を希望するのに同意する。社會民主主義は勞働階級の綱領の全體ではない事、並に產業の社會化に向つて進む個々の政策は多くの他の改良とその順を爭はなければならぬだらうといふ事を認める。それ故、社會主義の一切が、片方は有產者、他方は無產者といふ樣に分れた一總選擧や衆議院の一法案の論爭に賭せられる樣な瞬時が何時かは來るものと信じてゐるのではない。社會民主主義に徐々向ふ各目論見は單に他の幾多提案の一に過ぎないので、有力な社會主義者團體によつてそれを眞先にさせる事が出來るのである。故に Fabian Society は人氣取的な歷史的恐慌といふ事を期待してゐる社會主義者に對して他の團體に加はる樣に希望するのである。

第五　Fabian Democracy

Fabian Societyに依つて理解されるDemocracyは單に、自由に選出された人民の代表者に依つて管理される行政を意味するのである。Fabian Society は政治行政の技術的な仕事や、公官吏の任命が國民投票或は他の直接一般採決の形式で行はれる制度といふ樣な Democracy の凡ての概念を極力排斥する。斯くの如き制度は村落團體では實行可能だらうが社會民主主義がまさに實現されんとして居る複雜な產業の行はれつゝある文明諸國では不可能な事である。下院が上院の否決を蒙らなくなり、又代議士支給の適當な制度が出來て、凡ての階級に立候補が自由になつた時は、Fabian Society の見解では、英國の議會制度は民主主義政體の此上のない實際方法である。Fabian Society の理解する Democracy は男女の間に政治上の相違を設けぬのである。

第六　Fabian の妥協

Fabian Society は、社會主義者も他の人々同樣凡ての事で自分勝手なまねは出來ないつて事を經驗上知つて居るので、民主主義の社會に於て妥協といふ事は政治進步の必要條件だといふ事を認める。

第七　Fabian Socialism

Fabian Society の解する社會主義は必要な產業を牧師管區、都會、地方或は中央政府の最も適當な公權を通じて組織し管理する事、並に國民全體が土地と資本の經濟賃子の凡てを享有する事を意味する。

Fabian Society の主張する社會主義は全く國家社會主義に外ならぬ。英國には Parish Council や Vestry から中央議會に至る階段があり、立派な民主的國家機關があつて勞働階級も他を凡て壓到するに足る投票を得る事の出來る樣な選擧權の下で選擧が行はれるのであるから、大陸諸國に於ける國家と人民間の反抗は英國社會主義者には少しも問題ではないといふ事を念頭にして、Fabian Society の外國の友は前述の言を理解しなければならぬ。例へば都市並に他の地方團體に勞働階級が干與出來ない獨乙に於て、國家社會主義と社會民主主義の間に出來た相違は英國では何等意義のない事である。英國に於て困難なのは國民に一層多く政治的權力を與へる事ではなく、彼等をして、その有する權利を自覺して行使する樣に說く事なのである。

第八　Fabian Individualism

Fabian Society は國民の生計並に生產資料の兩方を完全に獨立させる必要以上に私人企業や個人の獨創に反抗して國家が產業を獨占する樣な事を主張しない。新發明の社會的價値を檢し、生產の改良方法を實施し、新しい社會的慾望を充す公企業を思付き、凡ての技藝工匠職業を獨立に行ふ等、一言にして云へば私人の活動並に判斷の泉を公の慣習的な活動並に判斷に加へる事に因り社會組織を完全にするのは、言論の自由、出版の自由、或は一般の自由に關する許可狀中の他の項目同樣 Fabian Society の大いに尊重する所である。

第九　Fabian の自由思想

Fabian Society は社會主義的な著者、經濟學者領袖並に諸團體の誤謬に關しては、社會主義反對者の誤謬に對すると同樣、大いに思想並に言論の自由を主張する。例へば Marx 及び Lassalle に對して批判的態度をとる必要を主張した。彼等の或意見は今日に於ては是等有名な社會主義者達がその先人 St. Simon や Owen に對してとつた態度と同樣、誤れるもの或は不明瞭なものとして排斥しなければならぬ。

第拾　Fabian の新聞政策

Fabian Society は新聞紙に關して『資本主義新聞』といふ樣な辭によつて示される區別を立てない。英國に於ては例外なく凡ての政治新聞は資本家が支配し、私人の資本で經營されて居るのである。その或ものは社會主義的意見を發表し、或ものは保守的意見を、又或ものは自由主義的並に急進主義的意見を發表してゐる。社會主義の新聞も他の新聞以上に社會の强要する所から如何しても獨立は出來ない、そして社會主義者の立場から見た社會主義新聞の優越な所は、全く保守主義者の立場から見た保守的新聞の優越と同じ性質である。Fabian Society がその意見を新聞紙に發表するに當つては、最も廣く流布されると云ふ事以外には何等撰り好みをしないのである。

第拾壹　Fabian と中流階級

社會主義運動が之れ迄、中流階級或は『Bourgeoisie』の人によつて鼓吹され、敎へられ又指導されて來た事實を顧みて Fabian Society は、之等中流階級の指導者が彼等自らの階級に行はれる偏狹な社會的理想を激しく攻擊するのを見出しても尠しも驚きはせぬが、社會主義者が抑々社會主義が發生した階級を非難する不合理に抗議を申出るのである。社會主義は特に有產階級に敵對する爲めに有產階級中から發生したのである。Fabian Society は之等同じ樣な偏狹な理想から無產者階級を解放する事に就て何等浪漫的な幻惑を持つてゐない。各地の社會主義團體同樣、凡ての階級の最も啓發した人々の高說に國民を親しませる事によつて彼等に社會主義を敎へる事が出來るばかりである。それ故 Fabian Society は「Bourgeois」或は中流階級といふ語を非難の言葉としては正當に用ひる事は出來ない。殊に斯くすれば社會主義團體自らの會員多數を咎める事になる。

第拾貳　Fabian natural philosophy

Fabian Society は公衆に對し現制度の下に於ける社會の惡い狀態を意識させて社會的に悔悟させやうと努める。社會主義者の著書からでなく官廳の資料から集めた確實な又公平な統計的事實を集輯し又出版して之を行ふのである。近代の資本主義的文明に關し周到な檢査をした幾多の事實を含む Marx の資本論第一卷は恐らく今日迄に發行され最も成功した宣傳書である。Fabian Society は此方面に於ける Marx の事業

を繼承せんと努め、社會主義者が民衆の狀態に就て爲した推論が、豫期される如く、現制度の弊害を力說せずに現制度を殆んど一樣に謂つてゐるのを發見した。それ故、Fabian Society は社會主義の物理學には light が heat よりも一層重要な要素であるといふ論斷をする。

第拾參　Fabian の排斥

Fabian Society は社會主義の目的に關して公衆を誤解させる『勞銀制度廢止』といふ樣な言葉を排斥する。社會主義は勞銀廢止を意味せず唯、私人に雇はれやうと貧窮な男女が競爭して決定される勞銀並に商業上の利潤、手數料及び凡てその他の報酬の投機的並に競爭的な方法に代つて社會自體の事業に於て社會が凡ての勞働者の生活の爲め標準的な給與を行ふ事を意味するのである。要するに Fabian Society は勞銀を廢止しやうと云ふのではなくて各人に對して勞銀を確得せしめやうとするのである。

Fabian Society は各人に對して均等の勞銀、均等の勞働時間、平等の地位、平等の權限を與へて產業の社會化を行はうとする凡ての主張に斷乎と反對する。斯くの如き狀態は不可能なばかりでなく、近代社會主義の基礎である共同の利益に對する等しい服從といふ事と矛盾する。

Fabian Society は或個人又は人々の團體に對し『彼等の勞働の全產物』を與へやうといふ凡ての計畫に斷然反對する。富はその初め、社會的のものであつた、そしてその分配に於ても社會的でなければならぬ。何んとなれば、產業の發達は各人が共同の生產物に對して爲す特殊な貢獻を區別し、或はその價値を確める事の不可能な事を認めてゐる。

Fabian Society は北米、阿弗利加及び他の遠隔な地に於ける理想鄕の凡ての計畫者及び建設者に對して、斯くの如き冒險に對して彼等が性急な理由を述べやうと思ふ。此計畫者達やその凡ての援護者達に對し我協會は、私人の企圖に依り社會主義が實現されると信じない事を確と告げるのである。

第拾四　結　論

Fabian Society は社會主義を人類社會の萬病を治する萬能藥として唱へるのではなく、唯缺陷ある產業組織並に甚だしき富の惡分配から生ずる病に對する神藥として唱へるのである。（Report on Fabian Policy pp. 3-8）

此『報告』と共に提出された『決議案』は八時間勞働、少年勞働、工場法、婦人勞働、官營工場、產業國營及び市營、失業、戰爭並に對外政策、監獄、婦人の政治上の權利、國民の議決權、最小勞銀の拾二項に渡るものであつた。

補者排斥といふ樣な場合はそれまでなかつたので此一項は餘りに極端であつた。併しその理由からではなく斯る政策を全く變更させやうといふ反對者が表はれ、此『報告』が Tract として出版される事を中止させやうとしたが百八票對三十三票で否決された。

尙右『報告』中『Fabian 選擧政策』の如く第三候